

にいがた ワークバザール 2012



新潟市上古町商店街振興組合 & わわプロジェクト

にいがたワークバザール2012 シンポジウム

つくるこゝろが 生きるこゝろ

阪神・中越、そして東日本大震災

近代化以降、培われてきた科学技術主義。

しかし近年頻発する自然災害を経験し、人類はそれに打ち勝つことでなく、自然と共存し知恵を共有することのみ

共生できるのではないかと気付き始めています。

阪神・淡路大震災、中越地震、そして東日本大震災での

アーティスト・建築家・クリエイターの活動や

震災がれき関連プロジェクト等を紹介するとともに、

彼らが築く「クリエイティブ・ネットワーク」が

災害などの危機的状況において果たす役割を提示します。



【特設サイト】 <http://niigata.wawa.or.jp>

Program

中村政人 「東日本大震災以降のアーティストを中心とした活動について」

椿昇 「神戸から東日本大震災へ 活動の軌跡」

宮本武典 「東北と震災」

岩佐明彦 「仮設住宅のカスタマイズ」

照内創 「やっべし祭り：商店街を中心としたコミュニティと震災」

総括

ディスカッション／質疑応答

登壇者紹介



中村 政人

3331 Arts chiyoda 統括ディレクター、東京藝術大学准教授。98年アーティストユニシアティブコマンドNを主宰。東日本大震災地域復興支援プラットフォーム「わわプロジェクト」プロジェクトディレクター。



椿 昇

京都造形芸術大学美術工芸学科長、現代芸術家。東日本大震災復興に向け、アーティスト達が立ち上げた VITAL FOOT PROJECT のプロジェクトリーダー。阪神淡路大震災の実体験に基づき、まず水や灯油を始めとする生活物資を被災地の隅々にまで届ける自転車用トレーラーをカスタマイズして現地へ寄贈するなどの活動を行った。



宮本 武典

キュレーター、東北芸術工科大学准教授、同大東北復興支援機構 TRSO ディレクター。多様な専門家が同居する「大学」のピオトープ的環境を、地域貢献や復興支援に応用する協働プロジェクトを数多く手がける。水と土の芸術祭 2012 では石川直樹のプロジェクト「異人 the stranger」をキュレーション。福興会議発起人。



岩佐 明彦

新潟大学准教授。2004年の中越地震では仮設住宅地にオープンカフェを開き、支援と調査を両立するプロジェクトを実施。仮設住宅を住みこなす知恵を収集・共有する居住環境支援に取り組む。主な著書に「仮設のトリセツ」(主婦の友社)、「まちの居場所」(東洋書店)など。



照内 創

1980年生まれ。建築家。SO&CO。主宰。2011年よりやっべし祭りへ参加。アーティスト、写真家等と共に大船渡へ関わり続けている。

日時：2012年11月3日(土)13:00-16:00 (開場 12:30)

場所：新潟県政記念館 議会室 (新潟市中央区一番堀通町3番地3)

主催：東日本大震災復興支援「つくるこゝろが生きるこゝろ」にいがたワークバザール2012 (わわプロジェクト/上古町商店街振興組合/やっべし祭り実行委員会)

共催：新潟市/水と土の芸術祭2012実行委員会

運営：ヒッコリースリートラベラーズ/上古町商店街青年部

申し込み・お問い合わせ先

上古町商店街振興組合事務局

TEL: 025-225-0354

E-mail: kamifurumachi@gmail.com

参加無料
定員100名

事前申込制

